

平成26年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年12月11日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク 上場取引所 東
 コード番号 7614 URL http://www.om2.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大越 勤
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 澄川 新一 TEL 03 (5405) 9541
 四半期報告書提出予定日 平成25年12月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第3四半期の連結業績（平成25年2月1日～平成25年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第3四半期	25,310	2.6	813	△15.9	911	△16.4	468	△11.0
25年1月期第3四半期	24,659	11.1	967	154.3	1,090	127.4	526	473.8

(注) 包括利益 26年1月期第3四半期 469百万円 (△10.8%) 25年1月期第3四半期 526百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第3四半期	68.76	—
25年1月期第3四半期	77.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年1月期第3四半期	13,709	7,857	57.3	1,152.73
25年1月期	13,933	7,523	54.0	1,103.79

(参考) 自己資本 26年1月期第3四半期 7,857百万円 25年1月期 7,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年1月期	—	0.00	—		
26年1月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年1月期の連結業績予想（平成25年2月1日～平成26年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	△0.7	1,350	△6.6	1,550	△3.2	750	4.6	110.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名）一、除外 1社（社名）ミスタースタミナ株式会社

（注）詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年1月期3Q	7,335,634株	25年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	26年1月期3Q	519,453株	25年1月期	519,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年1月期3Q	6,816,181株	25年1月期3Q	6,816,183株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に、円高の是正や株価の上昇、輸出の持ち直しなどから緩やかな回復基調で推移し、今後さらなる景気回復が期待されていますが、消費税率の引き上げ決定等、先行きに懸念材料は残す状況にあります。

当社グループ中核事業の属する食品小売及び外食業界におきましても、個人消費には明るい兆しも見えるものの、日常の買い物行動を見ると消費者の選択眼は厳しく、低価格志向も依然として根強く残っております。また、円安の影響による輸入原材料の価格上昇などもあり、厳しさは続いております。

このような中で当社グループは、中長期にわたる経営力の強化を目指し、主力事業である食肉等の小売業における連結子会社の合併や、新規ディベロッパーとの取り組みによる出店や既存店活性化活動の継続、提案型販売の強化等を進めてまいりました。外食業にあつては特にステーキレストランチェーン事業において競争力向上のための施策として期間限定メニューやマーケティング強化を図り、また加工事業では、原材料の価格上昇の影響を受けながらも新規顧客開拓及び既存顧客との深耕取引等に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は253億10百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は8億13百万円（同15.9%減）、経常利益は9億11百万円（同16.4%減）、四半期純利益は4億68百万円（同11.0%減）となりました。

営業の概況をセグメント別に記述すると以下の通りであります。

「食肉等の小売業」

当第3四半期連結累計期間中の開店は19店、閉店は22店であり、その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は141店になりました。内訳は食肉小売店113店（前期末比5店減）、惣菜小売店28店（同2店増）であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、その結果売上高は149億1百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は5億87百万円（同16.0%減）となりました。

「食肉等の製造・加工業」

主力のハム・ソーセージ部門において取引先の新規深耕開拓の継続実施で効果を上げ、売上高は49億91百万円（前年同期比9.7%増）となり、営業利益は原料相場の高騰等の影響から1億34百万円（同46.1%減）となりました。

「外食業」

当第3四半期連結累計期間中の開店は2店、閉店は3店であり、その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は59店になりました。売上高につきましては、特に㈱オーエムツーダイニングにおいて新店や期間限定メニューの取り組み等が奏功し、その結果、58億45百万円（前年同期比8.7%増）となりました。営業利益につきましては、店舗損益の改善の他、前年同期にあった㈱焼肉の牛太ののれんの償却47百万円が償却完了によりなくなったため、営業利益は3億38百万円（同44.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の主要勘定の金額及びその前連結会計年度末比は以下の通りであり、大きな変動はありません。

なお、自己資本比率は57.3%と前期末比3.3ポイントの上昇となりました。

流動資産	88億99百万円（前期末比+0.9%）
固定資産	48億9百万円（同△5.9%）
総資産	137億9百万円（同△1.6%）
流動負債	44億87百万円（同△4.2%）
固定負債	13億64百万円（同△20.9%）
純資産	78億57百万円（同+4.4%）
負債・純資産合計	137億9百万円（同△1.6%）

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年1月期の通期業績予想につきましては、平成25年3月12日に公表いたしました内容に変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間においてミスタースタミナ㈱は、当社の連結子会社である㈱オーエムツーミートとの合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,765,994	5,384,793
受取手形及び売掛金	847,243	833,413
テナント未収入金	1,035,375	1,045,573
商品及び製品	560,188	550,040
仕掛品	10,402	11,245
原材料及び貯蔵品	244,568	534,068
繰延税金資産	104,414	114,585
未収入金	141,253	210,163
その他	133,493	238,446
貸倒引当金	△21,297	△22,638
流動資産合計	8,821,636	8,899,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,997,315	4,135,485
減価償却累計額	△2,411,508	△2,481,861
建物及び構築物（純額）	1,585,806	1,653,623
機械装置及び運搬具	1,704,185	1,761,042
減価償却累計額	△1,452,963	△1,482,055
機械装置及び運搬具（純額）	251,221	278,987
土地	749,186	718,296
その他	1,422,049	1,367,639
減価償却累計額	△988,870	△1,028,470
その他（純額）	433,179	339,168
減損損失累計額	△447,993	△430,444
有形固定資産合計	2,571,400	2,559,631
無形固定資産		
のれん	29,099	23,643
その他	152,551	141,706
無形固定資産合計	181,651	165,349
投資その他の資産		
投資有価証券	120,875	114,504
長期貸付金	8,328	95,924
繰延税金資産	247,235	213,543
敷金及び保証金	1,460,829	1,324,432
投資不動産	441,636	257,376
減価償却累計額	△37,015	△17,956
投資不動産（純額）	404,620	239,420
その他	138,065	118,053
貸倒引当金	△21,322	△21,122
投資その他の資産合計	2,358,632	2,084,756
固定資産合計	5,111,684	4,809,737
資産合計	13,933,321	13,709,428

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,172,233	2,443,423
短期借入金	560,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	410,458	341,559
未払金	428,849	392,931
未払法人税等	478,841	84,081
賞与引当金	104,414	211,711
その他	530,229	514,209
流動負債合計	4,685,027	4,487,916
固定負債		
長期借入金	1,163,438	880,191
長期未払金	1,956	1,090
退職給付引当金	231,269	196,621
役員退職慰労引当金	72,179	61,910
資産除去債務	178,633	176,906
その他	77,176	47,564
固定負債合計	1,724,653	1,364,284
負債合計	6,409,680	5,852,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,064,000	1,064,000
利益剰余金	6,457,739	6,790,127
自己株式	△476,078	△476,078
株主資本合計	7,512,361	7,844,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,279	12,478
その他の包括利益累計額合計	11,279	12,478
純資産合計	7,523,640	7,857,227
負債純資産合計	13,933,321	13,709,428

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)
売上高	24,659,433	25,310,056
売上原価	15,320,188	16,144,481
売上総利益	9,339,245	9,165,574
販売費及び一般管理費	8,371,747	8,351,751
営業利益	967,497	813,823
営業外収益		
受取利息	1,989	6,669
受取配当金	1,116	1,199
持分法による投資利益	1,556	—
家賃収入	89,938	95,795
協賛金収入	33,857	25,322
受取手数料	10,129	17,701
貸倒引当金戻入額	14,807	—
その他	31,369	31,464
営業外収益合計	184,765	178,153
営業外費用		
支払利息	15,838	12,287
持分法による投資損失	—	18,419
不動産賃貸原価	44,369	48,456
その他	1,746	1,090
営業外費用合計	61,955	80,253
経常利益	1,090,307	911,723
特別利益		
有形固定資産売却益	554	9,737
受取補償金	—	5,139
特別利益合計	554	14,877
特別損失		
有形固定資産除却損	37,828	2,576
有形固定資産売却損	46	904
減損損失	32,857	8,124
店舗閉鎖損失	18,842	27,574
たな卸資産廃棄損	—	19,025
その他	96	4,909
特別損失合計	89,671	63,113
税金等調整前四半期純利益	1,001,190	863,487
法人税、住民税及び事業税	523,546	371,942
法人税等調整額	△49,291	22,833
法人税等合計	474,255	394,776
少数株主損益調整前四半期純利益	526,934	468,711
四半期純利益	526,934	468,711

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	526,934	468,711
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	1,199
その他の包括利益合計	56	1,199
四半期包括利益	526,991	469,910
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	526,991	469,910

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	食肉等の製 造・加工業	外食業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,156,752	4,147,685	5,354,996	24,659,433	—	24,659,433
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,748	402,147	22,823	439,719	△439,719	—
計	15,171,501	4,549,832	5,377,819	25,099,153	△439,719	24,659,433
セグメント利益	699,332	249,769	235,211	1,184,314	△216,816	967,497

(注) 1. セグメント利益の調整額△216,816千円は、セグメント間取引消去△12,627千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△204,189千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」セグメントにおいて、店舗設備等の一部の資産は、当該事業に係る損益及びキャッシュ・フローが継続してマイナスとなる状況であるため、当第3四半期連結累計期間において、収益性が著しく低下しているものと判断し、帳簿価額を回収可能価額等まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「食肉等の小売業」及び「外食業」セグメントにおいて、それぞれ30,838千円、2,018千円の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において32,857千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年2月1日 至平成25年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	食肉等の製 造・加工業	外食業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,871,138	4,621,334	5,817,583	25,310,056	—	25,310,056
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30,360	370,275	27,547	428,182	△428,182	—
計	14,901,498	4,991,610	5,845,130	25,738,239	△428,182	25,310,056
セグメント利益	587,707	134,508	338,952	1,061,167	△247,344	813,823

(注) 1. セグメント利益の調整額△247,344千円は、セグメント間取引消去△24,102千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△223,241千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」セグメントにおいて、店舗設備等の一部の資産は、当該事業に係る損益及びキャッシュ・フローが継続してマイナスとなる状況であるため、当第3四半期連結累計期間において、収益性が著しく低下しているものと判断し、帳簿価額を回収可能価額等まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に8,124千円計上しております。